

平成26年度 第93回全国高校サッカー選手権大会函館地区予選会開催要項

- 1 主 旨 日本サッカーの将来を担うユース（18歳以下）年代のサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、高体連加盟チームが参加できる大会として本大会を実施する。
- 2 名 称 平成26年度 第93回全国高校サッカー選手権大会函館地区予選会
- 3 主 催 函館サッカー協会・北海道高等学校体育連盟函館支部
- 4 主 管 函館サッカー協会・北海道高等学校体育連盟函館支部サッカー専門部
- 5 当 番 校 北海道函館中部函館高等学校
- 6 期 日 平成26年8月22日（金）～24日（日）・8月30日（土）・8月31日（日）
※出場校数、地区代表校数による。
- 7 会 場 北海道函館中部高等学校グラウンド 函館大学附属有斗高等学校見晴グラウンド
日吉サッカー場
- 8 参 加 資 格 (1) 平成26年度（公財）日本サッカー協会に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。
(2) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校・中等教育学校に在籍する生徒であること。
(3) 選手は、北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。
(4) 「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入した者、または加入の意志のある者。
(5) 平成7年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技会3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(6) チームの編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成および男女混成は認めない。
(7) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。また、部員不足により単独出場できない学校同士の合同チームによる大会参加を認める。
(8) ① 転校後6カ月未満の者（全道大会日計算）は参加できない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。（外国人留学生もこれに準じる）
② 転校を伴わなくても、他の連盟から高体連加盟チームへ移籍する場合は、上記①に準じるものとする。ただし、この規定②の適用は、当該年度内に限るものとする。
(9) 選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の学校長の承認を必要とする。
(10) 各チームの登録選手は、原則として選手証（写真貼付したもの）を試合会場に持参すること。ただし、電子登録証（写真が登録されたもの）が確認出来る場合は出場を認める。
(11) 外国人留学生の登録は4名までとし、試合出場は2名までとする。
(12) 参加資格の特例
① 上記（2）、（3）に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、北海道高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
② 上記（5）のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技会3回限りとする。尚、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。
- 【大会参加資格の別途定める規定】
- 1 学校教育法第72条の特別支援学校、第115条の高等専門学校、第124条の専修学校、第134条の各種学校に在籍し、北海道高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
 - 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
①（公財）全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

- ② 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
- ③ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

- ① 全国高等学校サッカー選手権大会函館地区予選会開催要項を遵守し、大会申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- ② 大会開催に要する経費については、応分を負担すること。

9 参加チーム数 各地区協会より北海道予選会に参加できるチーム数は次による。

- (1) 参加チームが20チーム未満は、1チームとする。
- (2) 参加チームが20チーム以上で30チーム未満は、2チームとする。
- (3) 参加チームが30チーム以上で40チーム未満は、3チームとする。
- (4) 今年度全国高校総体代表校2チームは地区予選を免除する。
- (5) 開催地区代表校各1チーム
- (6) 高円宮杯U-18サッカーリーグ2014プレミアリーグおよび高円宮杯U-18サッカーリーグ2014プリンスリーグに参加している全チームの地区予選を免除する。

10 競技規則 (1) 2014年度(公財)日本サッカー協会制定「サッカー競技規則」による。

- (2) 大会参加申込をした最大25名のうち、各試合毎の登録は20名以下とし、最大9名を交代要員として登録できる。登録された交代要員の内から、4名までの交代が認められる。
- (3) 交代要員9名とスタッフ5名(どちらも最大数)がベンチ入りできる。

11 競技方法 (1) トーナメント方式により優勝以下第3位まで決定する。

- (2) 試合時間は80分(40分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は、原則として10分間とする。勝敗が決しない時は、ペナルティキック方式により次回戦に進出するチームおよび優勝チームを決定する。

12 引率責任者および監督 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。

13 参加料 大会参加料 8,000円(消費税込)

14 参加申込 (1) 参加の可否に関わらず、参加意思確認書を平成26年7月16日(水)12時必着で当番校まで送付すること。(E-mailまたはFAX)

- (2) 参加申込書に登録できる人員は、引率教員1名、監督1名、選手25名、マネージャー2名とする。
- (3) 参加申込書には必ず学校長印を捺印の上、監督会議の受付時に参加料とともに提出すること。会議不参加の場合は当番校まで郵送すること。※平成26年7月22日(火)必着
- (4) 参加申込書の位置(ポジション)については、GK・DF・MF・FWの用語を使って記入すること。
- (5) 申込書・参加料等の送付先

〒040-0012

函館市時任11-3 函館中部高等学校内 高校サッカー選手権支部予選会事務局
TEL 0138-52-0303 FAX 0138-52-0305 E-mail:418163@hokkaido-c.ed.jp

15 組合せ (1) 監督会議時に公開で抽選を行う。なお、会議出席チームは参加することができる。

- (2) 今年度高体連函館支部大会の優勝以下第3位までをシードする。

16 帯同審判 (1) 出場チームは(公財)日本サッカー協会認定審判員(4級以上)を帯同させること。チーム役員の兼務を可とする。

- (2) 帯同審判員は、大会期間中その業務にあたるものとする。

(3) 帯同できない場合は、3,000円（消費税込）を大会参加料とともに当番校に納付すること。

17 選手変更 登録選手の変更は10名以内とし、変更届用紙に必要事項を記載し、必ず学校長印を捺印の上、当番校まで郵送すること。
※8月18日（月）12時必着（FAX・E-mail可。その場合は試合当日に持参のこと。）

18 ユニフォーム (1) ユニフォームは正副2色（シャツ・ショーツ・ストッキング、FP・GK用共）を参加申込の際に記載し、各試合必ず携行すること。参加申込時に記載されたものを原則とする。
(2) 選手番号については、1番～25番までとする。
(3) チームのユニフォーム（ゴールキーパーを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
(4) シャツの前面・背面に選手番号を付けること。ショーツの番号については付けることが望ましい。
(5) ユニフォームの色、選手番号の参加申し込み以後の変更は認めない。
(6) ユニフォーム広告については高等学校体育連盟の規則により禁止する。
(7) ユニフォームに他のチーム（各国代表、プロクラブチーム等）のエンブレム等が付いているものは着用できない。
(8) 縞のユニフォームには、30cm四方の台地に背番号を、約10cm四方の台地に胸番号をつけること。
(9) その他については、（公財）日本サッカー協会「2014ユニフォーム規程」を遵守すること。

19 懲 罰 (1) 本大会は、（公財）日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
(2) 規律委員会の委員長は専門副部長とし、委員については委員長が決定する。
(3) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
(4) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場することができず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
(5) 本実施要項に記載のない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

20 諸 会 議 監督会議及び組合せ
(1) 日時 平成26年7月22日（火） 16:00
(2) 場所 函館中部高等学校 会議室 （2種委員会・専門委員会14:30）

21 そ の 他 (1) オーダー表の提出とユニフォームの決定は、第1試合については開始30分前とし、それ以降については前の試合のハーフタイムとする。ともに本部まで持参すること。
(2) 決勝戦においては、試合開始70分前に両監督が参加し、マッチコーディネーションミーティングを実施する。選手証（写真貼付）を必ず持参し、登録選手20名のチェックやユニフォームの決定などを行う。
(3) 各チーム初戦の前に選手証（写真貼付）を本部に提出し、選手資格の確認を受けること。なお、試合がなくとも顧問が役員として事前に来場する場合は、そこで確認を受けることが望ましい。
(4) 選手資格に関して不都合な行為があった場合は、そのチームの出場を停止する。
(5) ベンチに入ることができる人数は14名以内とする。
【監督・引率教員・コーチ・ドクター・マネージャー(2)・交代要員(9)】
()は最大数 ※交代要員は競技運営に支障のない色のビブスを着用すること。
(6) 試合開始前・終了後のセレモニーはワールドカップ方式とする。
(7) 試合後の応援席への挨拶はベンチを空けてからフィールド外を歩いて行うこと。
(8) メガネを装着しての出場は原則として認められない。
(9) ネックレス・ピアス・ミサンガ・ヘアバンド等の一切の装飾品、茶髪・金髪・髭を禁止する。
(10) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は、本大会実施委員会（競技委員長、競技委員、審判委員長等で構成）において協議の上対処する。中断・中止・延期する可能性があることを留意のこと。

- (11) 優勝チームには「第93回全国高校サッカー選手権大会北海道予選会」への参加を義務付ける。

以 上